

## 地域づくり提案事業 成果検証報告書

## 【成果指標の達成状況】

成果検証実施年度 22 年度

市町村名	羽生市					
提案事業名	キャラクターを活かした観光PR推進事業					
事業期間	22 年度 ~ 22 年度					
成果指標	(成果を検証する指標) ゆるキャラ®さみっとin羽生の来場者数					
	(成果検証の具体的な方法) ゆるキャラ®さみっとin羽生の来場者数を調査する。					
	(成果の目標値に対する実績)				達成度	A
	従前値 (年 月時点)	—	目標値 (22年11月時点)	12,000人	実績値 (22年11月時点)	50,000人
	(施設建設等の場合の実績)					
	年間利用者数 (人)	(目標) (実績)		稼働率 (%)	(目標) (実績)	
住民への公表状況 及び特記事項		市のHPにおいて市民に公表する				

## 【事業効果の整理・原因分析】

平成22年度 構成事業

構成事業名	事業効果	事業効果の概要及び原因分析
① ムジナもんと仲間たちの着ぐるみ製作事業	○	キャラクターを活かした観光交流人口100万人を目指した観光PRの推進を図るため、羽生市のイメージキャラクターとその仲間たち 計7体を製作した。
② ゆるキャラ®さみっとin羽生事業	○	ご当地のアピールと親睦を図ることを目的とし、「ゆるキャラ®さみっとin羽生」を開催したことにより、キャラクターを活かした観光交流人口100万人を目指した観光PRの推進が図られた。
③ 着ぐるみを活用した羽生市のPR事業	○	着ぐるみを市内の市民活動グループや団体、企業などに貸し出し、イベント等に活用した。また、県のゆる玉応援団活動へ参加し、市内外へ市のPRを行った。
④		
⑤		

## 【成果検証の総括・改善策の検討】

実施事業について 十分に成果が認められた点	羽生市のイメージキャラクターとその仲間たち 計7体を製作したことで、キャラクターの認知度が上がり、市民の方等への貸し出しや市内の各種イベントへの活用、県のゆる玉応援団活動への協力など、着ぐるみを通して羽生市のPRを行うことができた。また、「ゆるキャラ®さみっとin羽生」に日本各地からキャラクターが参加し、キャラクター同士の交流と羽生市のPRが図られた。
実施事業について 成果が不十分である点	キャラクターの認知度が向上するにしたいが、着ぐるみの貸出回数が増える。イベントなどで着ぐるみを登場させる際のスタッフの確保やメンテナンスの経費が必要になってくる。
成果検証を踏まえた 今後の改善策	イベントの際に着ぐるみを着るスタッフを募集し、キャラクターのPRと市の魅力発信を効率的に行えるようにする。

【成果指標の達成状況】

・達成度(A・B・C)の判断基準は次のとおりとする。

「達成度A」 目標値に対する実績値が80%以上の場合

「達成度B」 目標値に対する実績値が60%以上80%未満の場合

「達成度C」 目標値に対する実績値が60%未満の場合

【事業効果の整理・原因分析】

・事業効果(O・△・×)の判断基準は次のとおりとする。

「事業効果O」 事業効果の発現が十分に認められる

「事業効果△」 事業効果の発現が多少認められるが、不十分な点がある

「事業効果×」 事業効果の発現がほとんど認められない